

児童図書委員会の取組紹介

北設楽郡東栄町立東栄小学校

はじめに

本校は愛知県北東部に位置する全校児童91名の小規模校です。学校司書はおりません。児童会の委員会活動には5・6年児童全員が取り組んでいます。図書委員会には例年6名前後の児童が所属しており、図書館での図書の貸出、返却手続きや書架の整頓などの常時活動や特別企画などに取り組んでいます。

1 低学年への読み聞かせ活動

本校では、学級朝の会の前の10分間を朝読書の時間として設定しています。それぞれ、あらかじめ用意しておいた図書を広げ、集中して読書をしています。しかし、低学年の児童の中には、その時間に一人で図書と向き合うことが難しい児童も見られます。そこで、図書委員会の児童が教室に出向いて読み聞かせをしています。担当児童は、自分たちが低学年だったころを思い出し、低学年の児童が楽しく聴くことができそうな図書を選び、読み聞かせの練習をして臨みます。読み終わると、聴いていた児童の数名が感想を発表して10分間の朝読書の時間が終わります。低学年の児童も楽しみにしており、児童が図書と出合うよい機会となっています。



2 全校図書集会

本校では、さまざまな委員会が全校での集会活動を前後期各1回程度の頻度で企画運営しています。本年度の図書委員会は、前期に学校図書館の利用の仕方を楽しく学ぶ図書館クイズ、後期には蔵書を紹介しながらのクイズ大会を行いました。後期のクイズ大会では、ある程度学年相応の図書を読み終えている児童が多く、クイズに取り上げられた図書について、「それ読んだことあるよ。」といった反応が見られました。全校縦割り班での対抗戦が和やかな雰囲気で開催されました。終盤に大会の感想を述べる場面があり、児童から「まだ読んでいない本が紹介されたので、読んでみたいと思った。」「本を読むと、そこに書かれている様子を想像するのが楽しいのでこれからも読書をしたい。」といった意見があがりました。



おわりに

今後も SLA や愛知県学校図書館研究会の HP などを参考にしながら、児童の読書の充実や学習情報センターとしての役割を担う学校図書館をめざして図書館教育に取り組んでいきたいと思えます。